

## 分子標的治療薬

問 209（国家試験問題）CHECK！□□□


ヒト上皮増殖因子受容体 2 型（HER2）過剰発現が確認された手術不能乳がんの治療に用いられる薬物はどれか。1つ選べ。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 エルロチニブ塩酸塩 | 2 ラパチニブトシル酸塩水和物 |
| 3 クリゾチニブ    | 4 スニチニブリンゴ酸塩    |
| 5 ゲフィチニブ    |                 |

- 1 ×：エルロチニブ塩酸塩は上皮成長因子受容体（EGFR）チロシンキナーゼを阻害することにより *EGFR* 遺伝子変異陽性の切除不能な再発・進行性非小細胞肺がんに適応がある。
- 2 ○：ラパチニブトシル酸塩水和物は HER2 過剰発現が確認された手術不能又は再発乳がんに適応がある。
- 3 ×：クリゾチニブは *ALK* 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんに適応がある。
- 4 ×：スニチニブリンゴ酸塩はマルチターゲット型受容体チロシンキナーゼ阻害薬であり、根治切除不能又は転移性の腎細胞がんなどに用いられる。
- 5 ×：ゲフィチニブは *EGFR* 遺伝子変異陽性の切除不能な再発・進行性非小細胞肺がんに適応がある。

解答 2

.....  
【MEMO】

これだけは！おさえておくポイント 

薬剤	機序	主な適応
トラスツズマブ ベルツズマブ	ヒト上皮増殖因子受容体 2 型 (HER2) に対するモノクローナル抗体	HER2 陽性の乳がん HER2 陽性の胃がん※ ※トラスツズマブのみ
ラパチニブ	HER2 チロシンキナーゼ阻害薬	HER2 陽性の乳がん
セツキシマブ パニツムマブ	上皮成長因子受容体 (EGFR) に対するモノクローナル抗体	RAS 遺伝子野生型の 大腸がん
ゲフィチニブ	EGFR チロシンキナーゼ阻害薬	EGFR 変異陽性の非 小細胞肺がん
エルロチニブ	EGFR チロシンキナーゼ阻害薬	非小細胞肺がん
ベバシズマブ	血管内皮増殖因子 (VEGF) に対するモノクローナル抗体	大腸がん
ラムシルマブ	血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) に対するモノクローナル抗体	胃がん 大腸がん
ソラフェニブ	血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) などのチロシンキナーゼ阻害薬 (多標的阻害薬)	肝細胞がん 腎細胞がん
スニチニブ	血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) などのチロシンキナーゼ阻害薬 (多標的阻害薬)	腎細胞がん
リツキシマブ	CD20 抗原に対するモノクローナル抗体	CD20 抗原陽性の B 細胞性非ホジキンリンパ腫
ニボルマブ	PD-1 に対するモノクローナル抗体	非小細胞肺がん 腎がん
イマチニブ ダサチニブ	BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬	慢性骨髄性白血病 フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病
ニロチニブ	BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬	慢性骨髄性白血病

.....

【MEMO】

■■■ 関連問題 ■■■

問 210 (オリジナル問題) CHECK! □□□

*KRAS* 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行直腸がんの治療に用いられる薬剤はどれか。1つ選べ。

- 1 エルロチニブ
  - 2 リツキシマブ
  - 3 バニツムマブ
  - 4 イマチニブ
  - 5 ベルツズマブ
- .....

問 211 (オリジナル問題) CHECK! □□□

治癒切除不能な進行・再発の胃がんの治療に用いられる薬剤はどれか。1つ選べ。

- 1 ラムシルマブ
  - 2 ベバシズマブ
  - 3 ニロチニブ
  - 4 ラパチニブ
  - 5 ダサチニブ
- .....

問 212 (オリジナル問題) CHECK! □□□

*EGFR* 変異陽性が確認された非小細胞肺がんの治療に用いられる薬剤はどれか。1つ選べ。

- 1 イマチニブ
  - 2 ソラフェニブ
  - 3 セツキシマブ
  - 4 スニチニブ
  - 5 ゲフィチニブ
- .....

■■■ 解答 ■■■

問 210 解答：3

- 1 ×：エルロチニブは EGFR チロシンキナーゼ阻害薬であり、進行・再発の非小細胞肺がん  
に用いられる。
  - 2 ×：リツキシマブは CD20 陽性の B 細胞性非ホジキンリンパ腫に用いられる。
  - 3 ○：パニツムマブは上皮成長因子受容体（EGFR）に対するモノクローナル抗体製剤であり、*KRAS* 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん  
に用いられる。
  - 4 ×：イマチニブは BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬であり、慢性骨髄性白血病やフィ  
ラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に用いられる。
  - 5 ×：ペルツズマブは HER2 陽性の乳がん  
に用いられる。
- .....

問 211 解答：1

- 1 ○：ラムシルマブは血管内皮増殖因子受容体（VEGFR）に対するモノクローナル抗体製  
剤であり、治癒切除不能な進行・再発の胃がん  
に用いられる。
  - 2 ×：ベバシズマブは血管内皮増殖因子（VEGF）に対するモノクローナル抗体製剤であり、  
治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん  
などに用いられる。
  - 3 ×：ニロチニブは BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬であり、慢性骨髄性白血病に対し  
て用いられる。
  - 4 ×：ラバチニブは HER2 陽性の乳がん  
に用いられる。
  - 5 ×：ダサチニブは BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬であり、慢性骨髄性白血病やフィ  
ラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に用いられる。
- .....

問 212 解答：5

- 1 ×：イマチニブは BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬であり、慢性骨髄性白血病やフィ  
ラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に用いられる。
  - 2 ×：ソラフェニブはマルチキナーゼ阻害薬（多標的阻害薬）であり、肝細胞がん、腎細胞  
がん  
などに用いられる。
  - 3 ×：セツキシマブは上皮成長因子受容体（EGFR）に対するモノクローナル抗体製剤であり、*RAS* 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん  
に用いられる。
  - 4 ×：スニチニブはマルチキナーゼ阻害薬（多標的阻害薬）であり、腎細胞がん  
などに用いられる。
  - 5 ○：ゲフィチニブは EGFR チロシンキナーゼ阻害薬であり、*EGFR* 変異陽性の非小細胞  
肺がん  
に用いられる。
- .....